



がん体験者が、がんについて、命について伝える

(1) ねらい

がん患者の体験を聞いた子どもたちが、がんについての理解を深め、がん検診の重要性を知り、がん患者への理解を深め、生命(いのち)の大切さを感じ、生きることについて考える機会となることを目的とします。



(2) 対 象 (○の下の数字は対象学年)

幼	小	中	高	般
	○	○	○	○

(3) 支援メニュー提供者

滋賀県がん患者団体連絡協議会
がん教育スピーカーバンク

(4) 形 態

出前授業／オンライン授業

(5) 関連教科等 * () 内は関連性の強い単元

体育科(保健)(小6:病気の予防、中3:健康の成り立ちと疾病の発生要因)、道徳科、総合的な学習

(6) 土曜授業

可

(7) 支援メニュー内容

学校と発表内容について事前に検討し、ご依頼に合った内容、表現にします。PPT を使用します。

内容は体験談の発表とその後の質疑応答です。

発表内容は

- ① がんの理解を深める。がん検診の重要性、生命(いのち)の大切さを伝えます。
- ② がん患者を含め、誰もが互いに認め、認められる社会について考えることへとつなげます。
- ③ 難しい局面に出会った時に、それを乗り越える人間の強さを伝えます。

①②③によって、聞いてくれた児童・生徒のこれからの役立つことを願って発表します。

*スピーカーはがん教育の研修を受講しています。

(8) 支援メニュー関連ホームページ

<https://www.cancer-patients.shiga.jp/>

(9) 費用

謝金	応相談
旅費	要相談

(10) その他

医療系の看護学校、短大、大学などでも講師として発表しています。

連絡先【電 話】090-6201-1725

【メール】speakerbank@cancer-patients.shiga.jp

申し込み

この支援メニューは、メニュー提供者のホームページまたは電話・FAX 等により直接申し込むことができます。しが学校支援センターを通じて申し込むことも可能です。

相談はしが学校支援センターへ 電話：077-528-4654 e-mail：ma0601@pref.shiga.lg.jp